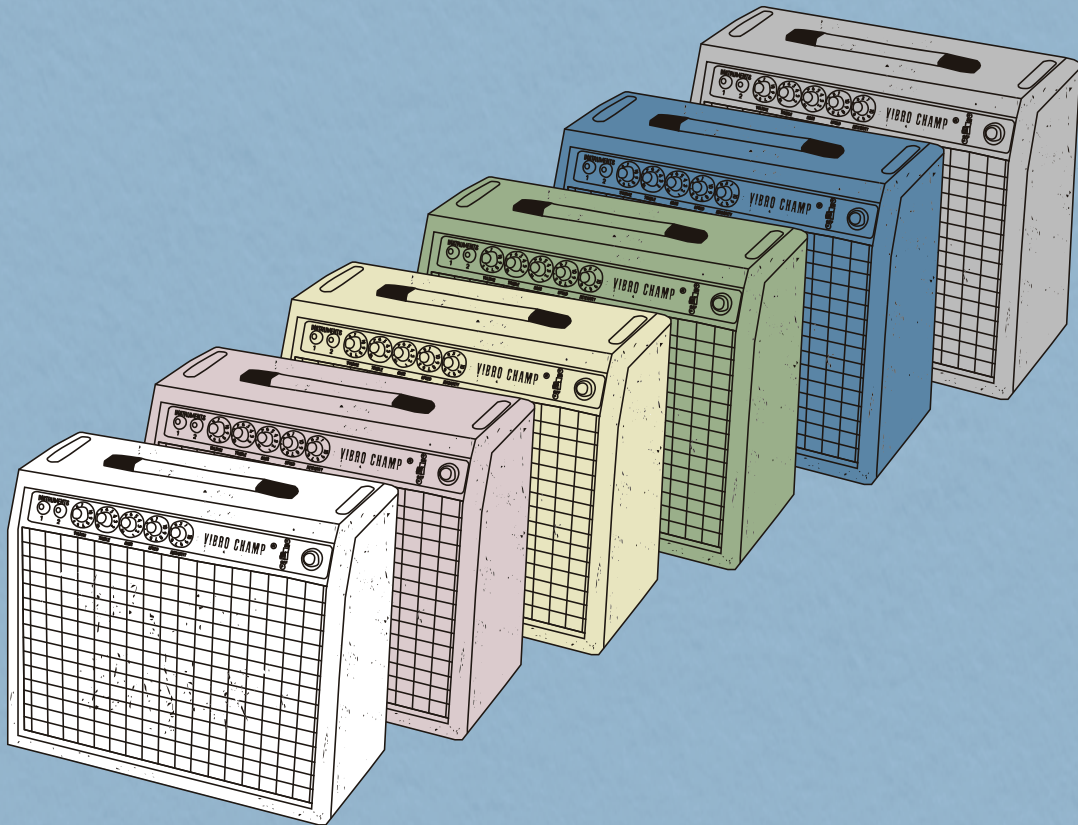




Vintage amp Rental Service



1947/1950/1952/1955/1956/1957/1958/1960/1963

1964/1965/1966/1967/1968/1970/1974/1975/1976

1978/1980/1983/1994/1995/1996/2000

What's wrong with the times.

Band Master

年代

1963 / 1964 / 1966

出力

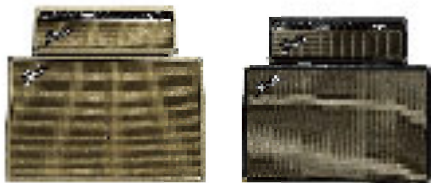
100W

真空管

6L6 管 ×2

スピーカー

15 インチスピーカー 2 基



特徴

1953 年に発売された Fender の大型コンボアンプです。Pro Amp、Bassman、Twin と並んで、Fender の定番アンプのひとつとして知られています。

Bandmaster は、ロック、ブルース、カントリーなど、幅広いジャンルの音楽で使用されています。

使用アーティスト（一部）

ビートルズ / ローリングストーンズなど。

Show man

年代

1963 / 1965 / 1966

出力

100W

真空管

6L6 管

スピーカー

15 インチスピーカー 2 基



特徴

1955 年に発売された Fender の大型コンボアンプ。

Bandmaster や Twin Reverb と並んで、Fender の定番アンプのひとつとして知られています。独立した Treble、Middle、Bass の EQ コントロールを搭載し、幅広いサウンドメイクが可能。6L6 管を採用し、ハリのあるサウンドが得られる。

使用アーティスト（一部）

ベンチャーズ / サーフアリスなど。

TREMOLUX

年代

1963/ 1964

出力

100W

真空管

6L6 管と EL84 管を組み合わせ

スピーカー

15 インチスピーカー 2 基



特徴

1963 年に発売された Fender の大型コンボアンプ。

独立した Treble、Middle、Bass の EQ コントロールを搭載し、幅広いサウンドメイクが可能。歪ませた音で、力強く攻撃的なサウンドを、クリーンな音で、滑らかで哀愁のあるサウン、オーバードライブさせた音で、力強くワイルドなサウンドを演出。

使用アーティスト（一部）

ビートルズ / ローリングストーンズなど。

Bass Man

年代

1965 / 1967

出力

100W

真空管

6L6 管 ×4

スピーカー

12 インチスピーカ 4 基



特徴

元はベースアンプとして発売された Bass man は、1960 年代後半に生産が中止されました。力強く豊かなサウンドを実現。独立した Treble と Bass の EQ コントロールを搭載し、幅広いサウンドメイクが可能。6L6 管を採用し、ハリのあるサウンドが得られる。ロック、ブルース、カントリーなど、幅広いジャンルの音楽で使用されています。

使用アーティスト（一部）

ブライアン・セッツァーやジョー・ウォルシュなど。

Tone master

年代

1990~1993

出力

100W

真空管

6L6×4/2

スピーカー

15 インチスピーカー 4 基 / 2 基



特徴

惜しまれながら生産完了してしまった 1990 年代の名機 Tone Master。

フェンダーでは珍しくクリーンとハイゲインチャンネルの 2 チャンネルを持つモデルです。両チャンネルとも非常に使いやすく、音圧も抜けも素晴らしい。

使用アーティスト（一部）

レッドツェッペリン / LUNA SEA の SUGIZO , INORAN など。

HEADAMP , CABINET どちらか片方だけのレンタルも可能。
ONPA SHOEROOM 内全アンプ試奏可能（無料）

CHAMP

年代
1957～
出力
50W
真空管
6L6 管 x2
スピーカー
8 インチスピーカー



特徴

1940 年代から製造している小型のギターアンプ。明るくクリーンで、抜けの良いサウンドが特徴で、エリック・クラプトンは、1960 年代に発表した「いとしのレイラ」や「サンシャイン・ボーイ」などで Champ のクリーンで伸びのあるサウンドを聴かせています。

使用アーティスト（一部）

キースリチャーズ / ローリングストーンズ / ジョンメイヤー / ジェイソンビーンなど。

SUPER CHAMP RIVERA

年代
1982～1985
出力
18W
真空管
6C10 / 6V6
スピーカー
10 インチスピーカー



特徴

1982 年から 1985 年まで製造されていた小型アンプ。クリーンチャンネルとドライブチャンネルの 2Ch 仕様でクリーンチャンネルは明るく透明感があり、ドライブチャンネルはクランチからオーバードライブまで幅広いサウンドを作り出すことができます。スプリングリバーブも搭載されており豊かな響きを加えることができます。

使用アーティスト（一部）

ポールギルバート / ジェフベック / マーティフリードマンなど。

COSTOM VIBROLUX REVERB

年代
1960 年後半～70 年代前半
出力
35W
真空管
6L6 管 / 12AX7
スピーカー
10 インチスピーカー 2 基



特徴

1968 年に発売され、Fender らしいクリーンなサウンドとクランチが特徴です。クリーンサウンドは、明るく煌びやかなトーンを持ち、ロックからポップスまで幅広いジャンルに対応します。クランチサウンドは、エッジの効いたパンチのあるサウンドで、リバーブは、空間を拡張するような自然な響きが特徴です。ビブラートは、揺らぎのあるサウンドで、ロマンチックな雰囲気演出するのに最適です。

使用アーティスト（一部）

ジョンレノン / エリッククラプトン / ジョーパスなど。

SUPER CHAMP

年代
1982～1985
出力
18W
真空管
6C10 / 6V6
スピーカー
10 インチスピーカー



特徴

1982 年から 1985 年頃にかけて生産されていた真空管ギターアンプです。当時、フェンダーのトップアンプデザイナーだったポール・リベラ氏が設計を手掛けたことで知られています。クリーンでは、抜けの良い明るい音色を、クランチでは、歪みすぎず、歯切れの良い音色を奏でることができます。

使用アーティスト（一部）

トムモレロ / ジョンフルシアンテ / ジミヘンドリックスなど。

CONCENT RIVERA

年代
1983 / 1988
出力
50W
真空管
ECC83x2、12AT7x2、6L6x2
スピーカー
12 インチ Jensen C12Kx1 発



特徴

1960 年代から 1970 年代にかけて製造されたチューブ・ギターアンプです。クリーンからクランチまで幅広い音色を作り出すことができるオールラウンドなアンプとして、多くのアーティストに愛用されてきました。

使用アーティスト（一部）

エリッククラプトン / ジミーペイジ / スティーヴ・ヴァイ / 加藤隆志など。

DELUAXE REVERB

年代
1965/1967
出力
22W
真空管
6L6x4/2
スピーカー
12 インチスピーカー 2 基



特徴

1960 年代に発売された FENDER の名機であり、現在も多くのミュージシャンが愛用。クリーンな音色は、ジャズやブルースなどのジャンルに適しています。クランチやオーバードライブなどの歪ませた音色も、艶やかで心地良いサウンドが得られます。豊かなリバーブが搭載されています。リバーブの量や音色を調整することで、さまざまな雰囲気の音を作ることができます。

使用アーティスト（一部）

松本孝弘、布袋寅泰、椎名林檎、斉藤和義、ローリングストーンズなど。

DELUXE

年代
1949
出力
22W
真空管
12AX7
スピーカー
Jensen C12K スピーカース



特徴

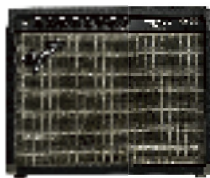
デラックスアンプのコントロールはシンプルで、使いやすいのが特徴です。マスターボリューム、チャンネルボリューム、トーンコントロール、リバーブコントロールの4つで、さまざまなトーンを作ることができます。60年代のヴィンテージアンプと同じ、ウォームでリッチなリバーブが搭載されています。

使用アーティスト（一部）

YOASOBI / ジョンメイヤー / ジェフベックなど。

PRIMSTON REVERB

年代
1955
出力
40W
真空管
12AX7 / 6V6
スピーカー
10 インチスピーカー



特徴

クリーンで温かみのあるサウンドは、Fender アンプならではのものです。歪みも少なく、幅広いジャンルの音楽に適しています。6 インチのスプリング・タンクを搭載しており温かみのあるリバーブを生成します。

使用アーティスト（一部）

ビートルズ / ローリングストーンズ / スティーヴィーレイ・ヴォーンなど。

VIBROSONIC REVERB

年代
1963 年～1964
出力
135W
真空管
6G8 / 6G10 / 6L6GC
スピーカー
Electro-Voice 15 インチ 1 基



特徴

1963 年から 64 年にかけて製造され、最大の特徴は、当時のフェンダーのギターアンプは、12 インチのスピーカーを 2 本搭載するのが一般的でしたが、VIBROSONIC REVERB は 15 インチのスピーカーを 1 本搭載することで、より力強く、深みのあるサウンドを実現しています。トレモロとリバーブを搭載しています。トレモロは、音程を上下させる効果がありリバーブは音に奥行きや広がりを与える。

使用アーティスト（一部）

ジミヘンドリックス / ジョーバス / スティーヴィーレイヴォーンなど。

DUAL SHOWMAN

年代
Not clear
出力
100W
真空管
12AX7 / 6L6GC
スピーカー
12 インチスピーカー 2 基



特徴

1967 年から 1982 年まで製造された、フェンダーの代表的な真空管ギターアンプです。クリアで伸びのあるサウンドと、歪みも得やすいという特徴を持つ、使い勝手の良いギターアンプです。幅広いジャンルの音楽に対応できるためロック、ブルース、ジャズなど、さまざまなジャンルの音楽で活躍しています。

使用アーティスト（一部）

ジミ・ヘンドリックス / ジェフ・ベックなど。

FRONTMAN15R

年代
Not clear
出力
15W
真空管
12AX7 / 6V6
スピーカー
8 インチスピーカー



特徴

Fender が 1987 年に発売した小型アンプ。

ビリー・ジョー・アームストロングは、FRONTMAN15R をデビューアルバム「39/Smooth」、名曲「Basket case」の制作、ライブで使用したことで知られています。リヴァー・クオモも、FRONTMAN15R をデビューアルバム「Weezer」の制作や、ライブで使用したことで知られています。

そのほかにもデイヴヴァンデンバーグ、野田洋次郎などの使用で有名。

VIBROCHAMP

年代
1970～1970 後期
出力
5W
真空管
12AX7 / 6V6
スピーカー
10 インチ Jensen C12Q スピー



特徴

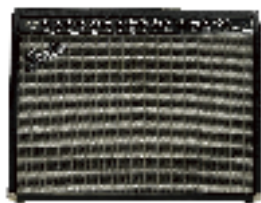
1955 年に発売した 5 ワットの小型チューブアンプです。当初は「Champ」という名称で発売されていましたが、1964 年に「VIBROCHAMP」に改名されました。出力 5W と小型ながら、クリアで温かみのある音色が特徴。クラシックなフェンダーサウンドを楽しめるアンプとして、多くのギタリストに愛用されています。

使用アーティスト（一部）

ジョンレノン、デイヴグロール、リッチーブラックモアなど。

TWINAMP

年代
1957～
出力
100W
真空管
12AX7 / EL34
スピーカー
12 インチスピーカー 2 基



特徴

1954 年に発売された伝説的な真空管ギターアンプです。
真空管プリアンプとパワーアンプを採用することで、温かみのある音色と豊かな歪みを実現しています。その大きな音量と豊かな音色で多くのアーティストが使用しています。

使用アーティスト（一部）

ビートルズ / ローリングストーンズ / ジョンメイヤー / エリッククラプトンなど。

SUPERSONIC

年代
Not clear
出力
22W
真空管
12AX7 / 6L6
スピーカー
12 インチスピーカー



特徴

5 バンド EQ を搭載し、音色を細かく調整可能で、ヴィンテージとバーンの 2 つのチャンネル切り替え可能。ヴィンテージチャンネルは、クラシックな Fender トーンを提供し明るくクリーンで、豊かな低音と滑らかな高音が特徴、バーンチャンネルは、モダンなハイゲインサウンドを提供し歪みは滑らかでニュアンスをしっかりと捉えます。

使用アーティスト（一部）ザ・ホワイトストライプス / レッドホットチリペッパーズ / トムモレロ / くるり / 奥田民生など。

1945

フェンダーの前身=K&Fが発足

レオ・フェンダーが、フェンダー社の前身である K&F マニュファクチャリング、コーポレーションにて楽器用アンプの製作／販売を開始する。ラインナップはすべてフィールド・コイル・スピーカー搭載のコンボで、1×8 インチ、1×10 インチ、そしてオーダー品の 1×15 インチ。トップ・マウント型シャーシもここで導入された。

1946

“ウッディー（Woody）” 期

最初の 3 つ” と呼ばれるプリンスストン（1×8 インチ）、モデル 26” デラックス（1×10 インチ）、プロフェッショナル（1×15 インチ）が登場。これらはエキゾチック・ハードウッド製のキャビネットを擁したデザインからウッディーの愛称と呼ばれる。スピーカーは、現代的なアルニコやセラミックのものに徐々に移行。

1947

最初のツイード・アンプが登場

ワニスを塗った糖ツイル生地“ツイード”でカバリングされたデュアル・プロフェッショナルが登場。それは、以降の“ツイード・アンプ”のアイコンでもあるクロムメッキされた上向きのコントロールを有した最初のアンプで、しかもフェンダー初となるツイン・スピーカーのモデルだった。

1948

TV フロント期

エンクロージャーが、フィンガー・ジョイントで組まれたバイン材のキャビネットに変更される。それは、ブラウン管テレビのような丸い四角を備えていたため“TV フロント”と呼ばれた。

1951

ソリッド・ベース向け

アンプが発売
同年発売となったプレジジョン・ベースと対になるアンプが開発される。最初はただ“アンプ”のと呼称されていたが、翌年、ベースマンと命名される。
1947-1965

1953

ワイド・パネル期へ

スピーカー開口部の上下に幅の広い（ワイドな）ツイード・パネルが取り付けられた新しいキャビネットに変更される

1954

プレゼンス・コントロールの

508 回路のツインに、初めてプレゼンス・コントロールが付く。ネガティブ・フィードバック・ループへの干渉を容易にするプレゼンス機能により、ロー・エンドや歪み成分を含む高域の抜けを簡単に制御できるようになった。

1955

ナロー・パネル期

新設計のキャビネットは、フロント・グリルの外枠の厚みが狭く（ナロー）なり“ナロー・パネル”と呼ばれる（下写真）。この時期、ツイードのフェンダー・アンプは初めての最盛期を迎え、5E3 のデラックスや、5F6 もしくは 5F6-A のベースマンといった、歴史に名を残す作を輩出した。

1955

トレモロ機能の搭載

フェンダーでは初となるトレモロ・エフェクト（実際には緩やかにピッチも変動するので、ピブラートの的なもの）を内蔵したアンプ、トレモロックスが登場。
時期により、異なる仕様のグリッド・バイアス式”のトレモロを採用している。

1959

ブラウン・フェイス期

ツイードからブラック・フェイス期への移行期にあたる過渡期のモデルたちを、茶色のフェイス・プレートと装備したルックスから便宜上”ブラウン・フェイス”と呼ぶ。カバリングが裏布張りのビニール製トールックスに差し代わる。この頃からコントロール・パネルが前面に設置され、チャンプやベースマンを除く、ほぼすべてのモデルにトレモロ・エフェクトが標準装備される。

1960

ビギー・バックの登場

ブロンドのショウマン（ショウマン 12/15）で、フェンダーで初めてのビギー・バック（Piggy-Back）が採用された。ビギー・バックとは”背負う”という意味で、フェンダー伝統のコンボではなくヘッドとスピーカー・キャビネットに分離したスタイルだ。

1963

リバーブがアンプに内蔵され

ブラウン・トールックスのヴァイブローパー（6G16 回路）が、リバーブ・エフェクトを内蔵した初のコンボとして登場。その画期的なオンボード・リバーブは、ハモンド社のスプリング・タンクを応用し、フェンダーが独自のサイズで製作したものだった（スタンド・アロン型のフェンダー製・リバーブ・ユニットは、1961 年にすでに発売されている）。

1963

ブラック・フェイス期スタート

黒いフェイス・プレートが採用された、通称”ブラック・フェイス”が登場。ハイエンド・モデルのプレゼンス・コントロールが廃止され、ブライツ・スイッチに置き換わり（トレモロックスには追加される）、光学式トレモロが採用される。フェンダー・クリーンを象徴するモデル・デラックス・リバーブやツイン・リバーブがラインナップに加わり、フェンダーは 2 度目の最盛期を迎える。

1967

シルバー・フェイス期

フェイス・プレートがアルミでできた銀色のものに差し代わり、シルバー・フェイス”と呼ばれる。シルバー・フェイス期特有の回路（AB568 など）”を指してそう呼称する場合も。ノブ自体に数字が刻まれたベークライトのヘッド・ノブが使用されるようになる。

1972

マスター・ボリューム装備

大型の”～リバーブ”やベースマン 100 から始まり、遅れてプロ・リバーブなどの中出カモデルにも順次マスター・ボリュームが追加される。

1976

フル・ブースト機能の追加

モデルごとに時期は異なるが、マスター・ボリューム（ベース・アンプ系は除く）ボリューム（おもにチャンプ系を除くマスター・ボリュームのない機種）に、フル・スイッチが追加されていく。これば”ディストーション・スイッチ”と呼ばれるが、いわゆるディストーションではなく、追加ゲインのみを付加するもの。

1977

出力=ワット数のパワー・アップ

”ウルトラリア”出力トランスが採用され、100W モデルは軒並み 135W へ、40W や 50W のモデルは一部を除いて 70W や 75W へとパワー・アップされた。

1980

一時的にブラック・フェイスに戻る

この頃から、既存のモデルに黒いフェイス・プレートや 60 年代半ばのようなグリル布への切り替えが行なわれたが、中身の回路は基本的にシルバー・フェイスのものをしていて（一部、修正が加えられたものもある）。この時期のものは”2nd バージョン・ブラック・フェイス”と呼ばれることもある。

1987-PRESENT

新体制のもとで再出発を果たしたフェンダー・アンプは、新たに導入されたザ・ツインなどの人気で足場を固め、その後もリイシュー・シリーズやカスタム・アンプ・ショップ（のちにフェンダー・カスタムショップに統合）謹製のハイエンド・モデルで新たな世代のニーズに応え続けた。現代においても、チューブ・アンプ部門はほかのソリッド・ステート製品やデジタル・モデリング・アンプなどと共存しながら、アンプ部門のトップ・ラインとしてフェンダー・サウンドの中核を支えている。

SUPERLEAD 1959

年代
1974
出力
100W
真空管
EL34
スピーカー
Celestion G12H スピーカー



特徴

1960年代後半に製造された、マーシャル社を代表する名機。クラシックなロックサウンドを生み出すアンプとして知られています。クリーントーンは、明るく煌びやかなサウンドです。歪ませると、甘くエッジの効いたディストーションサウンドになります。

使用アーティスト（一部）

ジミヘンドリックス / エリッククラプトン / ジミーページ / リッチーブラックモアなど。

SUPERBASS 1992

年代
1974
出力
100W
真空管
EL34
スピーカー
10 インチスピーカー 2 基



特徴

1992年に発売されたマーシャルのベースアンプ。同社のギターアンプ「JCM800」をベースに開発されており、ロックベースサウンドを追求したモデルとなっています。3バンドEQや、Mid Sweep、Scoopなど、多彩なコントロールを搭載しています。これにより、幅広い音作りが可能となっています。

使用アーティスト（一部）ランディロー / レミーキルミスター / ボールグレイ / ジェフ・アトウッドなど。

JTM45

年代
1989
出力
45W
真空管
ECC83 / EL34
スピーカー
Celestion G12 Vintage



特徴

1962年に発売された45ワットの真空管アンプです。当時のロックミュージシャンの要望に応じて開発されたもので、クランチからオーバードライブまで幅広い音色を生み出すことができる、ロックサウンドの定番アンプとして知られています。

使用アーティスト（一部）

エリッククラプトン / ジミヘンドリックス / ジェフベックなど。

SUPERLEAD50W 1987

年代
1976
出力
50W
真空管
EL34
スピーカー
Celestion G12M-65 スピーカー



特徴

1980年代に製造されたオールチューブギターアンプ。それぞれに独自のEQコントロールがありチャンネル1はクリーンチャンネル2はオーバードライブ。オーバードライブチャンネルには2つのゲインコントロールがありより多くの歪みを生成できます。また3バンドEQ、トレモロ、リバーブなどの機能を備えています。

使用アーティスト（一部）メタリカ / メガデス / スレイヤー / オジー・オズボーンなど。

SUPERBASS MK II

年代
1982
出力
100W
真空管
EL34
スピーカー
Celestion G12-65 スピーカー 4 基



特徴

1980年代に製造されたフルチューブベースアンプです。JCM800シリーズのベースアンプとして、ロックやメタルなどのジャンルで人気を博しました。幅広い音作りの可能性3バンドEQと、MID SWEEP、SLOPEコントロールを搭載しており、幅広い音作りが可能です。

使用アーティスト（一部）ジミーページ / ジェフベック / スティーヴ ヴァイなど。

JVM410H

年代
2007
出力
100W
真空管
12AX7 / EL34
スピーカー
10 インチスピーカー 4 基



特徴

マーシャルのフラッグシップモデルであり、クリーンからクランチ、リードまで幅広いサウンドをカバーする4チャンネル仕様です。各チャンネルに独立したEQ、マスターゲイン、クリーンゲイン、オーバードライブゲイン、リバーブ、モジュレーションを装備。1959プレキシを彷彿とさせるブライتناクリーンサウンドから、JCM800を思わせる重厚な歪みまで、幅広いサウンドをカバーします。

使用アーティスト（一部）ELLE GARDEN / スレイヤー / ギターウルフ / エヴァネッセンスなど。

MESA/BOOGIE Mark I

年代
1980 後期
出力
100W / 60W
真空管
12AX7 / 6L6
スピーカー
ELECTRO-VOICE の 12 インチスピーカー

**特徴**

Mesa/Boogie の最初の製品であり、その後の多くの Mesa/Boogie アンプの基礎となったモデル。クリーンとオーバードライブの両方のチャンネルを備えクリーントーンは、明るくクリアで、太い低音を、オーバードライブトーンは、太く、暖かく、粘りのあるサウンドを提供する。
使用アーティスト (一部) エディヴァンヘイレン / ジミーページ / リッチーブラックモアなど。

HIWATT DR103

年代
Not clear
出力
100W
真空管
EL34
スピーカー
12 インチスピーカー 4 基

**特徴**

DR103 は、入力ゲインとマスターボリュームの組み合わせにより、ハイゲインからクリーンまで幅広いサウンドを実現できます。入力ゲインを高くすると、クランチからオーバードライブまで、力強い歪みサウンドを得ることができます。また、入力ゲインを低くすると、クリーンなサウンドを出すことも可能。
使用アーティスト (一部) ジミーページ / ロバートプラント / エリッククラプトン / ジェフベックなど。

MESA/BOOGIE Royal Atlantic

年代
2023
出力
50W / 100W
真空管
12AX7 / EL34
スピーカー
Head only

**特徴**

Mesa/Boogie の伝統的なクリーントーンを提供。チャンネル 2 は、クリーンからオーバードライブまで、さまざまなドライブサウンドを生成でき、アンプのコントロールは、直感的で使いやすいように設計されています。チャンネル 1 のコントロールには、ボリューム、ゲイン、トレブル、ミドル、ベース、マスターがありチャンネル 2 のコントロールには、ボリューム、ゲイン、トレブル、ミドル、ベース、マスター、オーバードライブ、およびプリアンプバイパスがあります。
使用アーティスト (一部) ジェフベック / ジミーページ / スティーヴウァイ / ザックワイルドなど。

HIWATT LEAD30R

年代
Not clear
出力
30W
トランジスタ式
スピーカー
12 インチスピーカー 1 基

**特徴**

1990 年代に生産されていた 30W のコンポアンプです。トランジスタ式ながら、HIWATT ならではの雰囲気のあるサウンドを楽しむことができます。プリティッシュロックに代表される、太く、力強いサウンドです。クリーンからクランチ、オーバードライブまで幅広い音作りが可能で、さまざまなジャンルの音楽に対応します。
使用アーティスト (一部) Char / 松本孝弘 / 柳田久男 / ザ・フー / ローリングストーンズなど。

Gibson GA-40 Les Paul

年代
1956
出力
12W
真空管
12AX7 / EL84
スピーカー
Jensen P12P12 インチスピーカー

**特徴**

1952 年に発表された真空管アンプ。レスポールギターモデルの発売に合わせて、レスポールモデルの豊かなサウンドを最大限に引き出すために設計されました。バクサンドールスタイルのイコライザー回路を搭載しており、高音域と低音域を個別に調整することができます。また、トレモロ回路も搭載されており、揺らめくようなサウンドを演出することができます。
使用アーティスト (一部) エルヴィスプレスリー / ジェリーリー / チャックベリーなど。

Gibson GA-8 Discover

年代
1960 初期
出力
15W
真空管
6V6 / EL84
スピーカー
12 インチスピーカー 1 基

**特徴**

1959 年から 1963 年にかけて製造された小型のギターアンプ。コントロールは、ボリューム、トーン、トレモロの 3 つです。トレモロは、ギターの音量を徐々に上下させる効果があり、独特の雰囲気を演出することができます。特に、レスポールやテレキャスターなどのフルアコギターとの相性がよいと言われています。
使用アーティスト (一部) アキコヤマザキ / ジミヘンドリックス / エリッククラプトン / ジョニーウィンターなど。

Boqner Shiva 20th Anniversary

年代
2022
出力
90w
真空管
KT88
スピーカー
12 インチスピーカー 2 基



特徴

1999 年の発売から 20 周年を迎えたことを記念して、2022 年に発売。クリーンチャンネルとドライブチャンネルの 2 つのチャンネルを備えています。クリーンチャンネルは明るく透明感のあるサウンドでシングルコイルピックアップとの相性が抜群です。ドライブチャンネルは、豊かでパワフルなサウンドで、ハイゲインまでカバーできます。
使用アーティスト (一部) 青春 / hyde / 木村拓哉 / ジョンメイヤーなど。

DELIVERANCESIXTY

年代
Not clear
出力
120W
真空管
12AX7 / 6550



特徴

2002 年に発売されソリッドステートアンプ。クリーンからハイゲインまで幅広いサウンドを生成できます。2 チャンネルを備え、それぞれ独立したボリューム、トーン、ゲインコントロールを搭載しています。また、3 バンド EQ とリバースも搭載しています。ロック、メタル、ハードロックなど、さまざまなジャンルの音楽に適しています。特に、ヘヴィメタルギタリストに人気があります。
使用アーティスト (一部) フライアン・メイ / クリス・ノーマン / ジョー・パーカー・ジュニア / スティーヴ・ヴァイなど。

Suhr BADGER18

年代
2023
出力
18W
真空管
12AX7 / EL84
スピーカー
12 インチ Celestion G12M-65



特徴

アンプの最大の特徴は、Suhr 独自の「Blackface」回路を採用していることです。Blackface 回路は、1960 年代に流行したフェンダーのブラックフェイスアンプのサウンドを再現した回路で、Suhr の代表的なアンプである「Classic」シリーズにも採用されています。
使用アーティスト (一部) ジョンスコフィールド / ジョンメイヤー / ジョンフルシアンテ / ジェイクシマブクロ / マットヘルムなど。

Harmony H-193

年代
1950
出力
15W
真空管
12SQ7 / 50L6
スピーカー
1x6 インチ JENSEN スピーカー



特徴

ビンテージ真空管ギターアンプ。明るくクリアで、クラシックなロックやブルースなどに適しています。クラシックなサウンドを好むプレイヤーにおすすめのアンプで、小型ながらも十分なパワーと音質を備えています。
使用アーティスト (一部) エルビスプレスリー / ジェリーリールイス / ジョニーキャッシュなど。

